

妙安寺だより 405

法華経の守護神 ②

（妙見菩薩）

北極星を神格化し、の尊星とした、道教からはいってきた仏教信仰です。

北極星は、北の空で動く事が無いことから、星の運行をる神として崇められるようになりました。そのため、星祭りでは、妙見菩薩に対し、星回りの祈祷（その年の星回りが悪い方はいい方へ、いい方はよりいい方へ）を行ないます。

ご利益としては、国土守護・病氣平癒を主に、五穀豊穰・商売繁盛・眼病平癒などがあります。

また、刀を持っている事から、武家の守護神ともされ、「北辰一刀流」は有名です。

日蓮宗でも妙見信仰は強く、大阪能勢の妙見尊（）は有名です。

当山の妙見菩薩は、座高が約60センチと、他には見られない等身大の妙見菩薩像です。

5月の行事予定

5月12日（土） 午後2時 勉強会

（4月はうちわ太鼓の練習、日蓮教団の歴史①、数珠の持ち方・使い方を行ないました）

***18時に閉門します。（閉門後は番犬を放していますので、ご注意ください）**

閉門後も駐車場に駐車される場合は、一言お声かけください。不審車両と間違えます。

***護持会会費未納の方は、お納めください。不明の方は受付にてお問い合わせ下さい。**

***「地涌の声」の功德主を募集しています。8・9・10月があいています。**

***ゴミの分別にご協力下さい。掃除道具は元の場所へ。**

***護持会規約が改正されます。よくよくご確認ください。**

***平成31年より護持会会費が9千円になります。墓所をお持ちの方は、墓地管理費とあわせて、年間1万2千円となりますので、ご理解ください。**